

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 26 年 4 月 17 日 (2014.4.17)

【公開番号】特開 2013-36396 (P2013-36396A)  
 【公開日】平成 25 年 2 月 21 日 (2013.2.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2013-009  
 【出願番号】特願 2011-173434 (P2011-173434)  
 【国際特許分類】

F 0 4 B 43/02 (2006.01)

F 0 4 B 43/067 (2006.01)

F 0 4 B 45/04 (2006.01)

F 0 4 B 45/053 (2006.01)

【F I】

F 0 4 B 43/02 C

F 0 4 B 43/06 C

F 0 4 B 45/04 C

F 0 4 B 45/04 1 0 2 B

F 0 4 B 43/02 L

【手続補正書】  
 【提出日】平成 26 年 3 月 5 日 (2014.3.5)  
 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】  
 【請求項 1】

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムの変形によって、前記管は変形が起きるよう構成されてなり、

前記ダイヤフラムは、その端部に、リングを具備してなり、

前記リング部が凹部に嵌合されることによって、前記ダイヤフラムは固定されてなることを特徴とする流量制御装置。

【請求項 2】

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムは、

その端部に、リングを具備し、

ケース体に内装されており、

前記リング部が前記ケース体に形成された凹部に嵌合されることによって、該ダイヤフラムは固定されてなり、

前記ダイヤフラムと前記ケース体との間の空間に供給・排出される流体量によって、該ダイヤフラムが変形して前記管の前記変形可能部の変形して該管内を流れる流体の流量が制御される

ことを特徴とする流量制御装置。

【請求項 3】

前記嵌合されたリング部の上から該リング部を押圧する押圧部材が設けられてなることを特徴とする請求項 1 又は請求項 2 の流量制御装置。

## 【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００８

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

前記課題は、

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムの変形によって、前記管は変形が起きるよう構成されてなり、

前記ダイヤフラムは、その端部に、リングを具備してなり、

前記リング部が凹部に嵌合されることによって、前記ダイヤフラムは固定されてなることを特徴とする流量制御装置によって解決される。

前記課題は、

力が作用することによって変形する変形可能部を有する管と、前記管の前記変形可能部に力を作用させるダイヤフラムを具備してなり、

前記ダイヤフラムは、

その端部に、リングを具備し、

ケース体に内装されており、

前記リング部が前記ケース体に形成された凹部に嵌合されることによって、該ダイヤフラムは固定されてなり、

前記ダイヤフラムと前記ケース体との間の空間に供給・排出される流体量によって、該ダイヤフラムが変形して前記管の前記変形可能部の変形して該管内を流れる流体の流量が制御される

ことを特徴とする流量制御装置によって解決される。